

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市三田特定流通業務物流センター計画	階数	地上3F
建設地	厚木市三田字新田2065番2外45筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条の地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2022年3月25日
敷地面積	20,580 m ²	作成者	戸田建設(株)横浜設計室一級建築士事務所
建築面積	8,709 m ²	確認日	2022年3月25日
延床面積	20,269 m ²	確認者	戸田建設(株)横浜設計室一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.0**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性: N.A. 耐用性: 3.1 対応性: 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境: 3.0 まちなみ: 3.0 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.9**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

建物外皮の: 5.0 自然エネ: 3.0 設備システ: 5.0 効率的: 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源: 3.4 非再生材料の: 3.8 汚染物質: 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化: 4.0 地域環境: 3.5 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
・厚木市の市街化調整区域に、事務所と工場の複合用途の流通業務施設を鉄骨造・3階建てで計画した。	・特に無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
-	・耐用年数の長い内装仕上げ材の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
・BpIm=0.58、BEIm=0.50、LED照明設備を採用。	・自動水栓等と節水型便器採用して、水資源に配慮している。 ・躯体と仕上材を分離し、OA707-の採用等に依り解体時のリサイクルを促進する対策とした。
	LR3 敷地外環境
	・駐輪場・駐車場及び荷捌き用車両の駐車スペースを確保している。周辺道路の渋滞緩和対策は、大型車待機場所の確保及び車両出入口2ヶ所の内1ヶ所は普通車出入口専用としている。 ・光源は総合効率の高いものを採用している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築2物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される